

我孫子市環境レンジャー通信
No87
(令和5年12月発行)

たまっけ

(発行)
我孫子市環境レンジャー
(連絡先)
我孫子市手賀沼課
04-7185-1484(直通)

「たまっけ」とは昭和35(1960)年頃まで手賀沼でもたくさん棲んでいたカラスガイのことです。今はほとんど見られません。環境レンジャーは、我孫子の自然環境を市民に伝え、市民といっしょに考え、守り育ててゆくために結成されました。みなさん、いっしょに美しい我孫子を守り育てましょう。

《特集》 我孫子第一小学校ミニ手賀沼課の取り組み紹介 発見！発信！手賀沼調査隊 ～きれいな手賀沼にするために～

(手賀沼課 湯下 友美)

令和4年度、我孫子市立我孫子第一小学校の第4学年の子ども達が、総合的な学習の時間の探求課題として手賀沼についての学習に取り組んでくれました。

「発見！発信！手賀沼調査隊～きれいな手賀沼にするために～」と題したこの取り組みは、地域とのつながりを感じ、自分たちにとって身近な、また、我孫子ならではの自然を大切にしようという思いからはじまっています。例えば、学区にある手賀沼の水環境や生物、手賀沼を守るために活動する人々について考えたり、きれいな手賀沼にするために自分たちの力でできることをやってみたり、その取り組み内容は実に様々です。



実際に船に乗って感じたこと、北千葉導水ビジターセンターや鳥の博物館等を見学したりして知識を深めたことについて、クラスごとに壁新聞をつくるなどして調査報告会を行いました。

ある時は何度も手賀沼公園に足を運び、自分たちでペットボトルを使って透視度計を作って計測も行ったそうです。

また、クリーン手賀沼推進協議会が主催している手賀沼清掃を見学し、手賀沼から出てくるごみ(木材やペットボトル、漁網やパソコンなど)に驚いたり、現在手賀沼で問題となっている特定外来生物のナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイの説明にも、懸命に耳を傾けたりしてくれました。

自分たちが学んだ結果を発信したい！という熱い気持ちから、「ミニ手賀沼課」を立ち上げ、ジャパンバードフェスティバルの環境学会で学習の成果を発表、さらには水の館の手賀沼ステーションに壁新聞やポスター、リーフレットなどを展示し、より多くの人に手賀沼のことを伝えられるよう取り組みました。

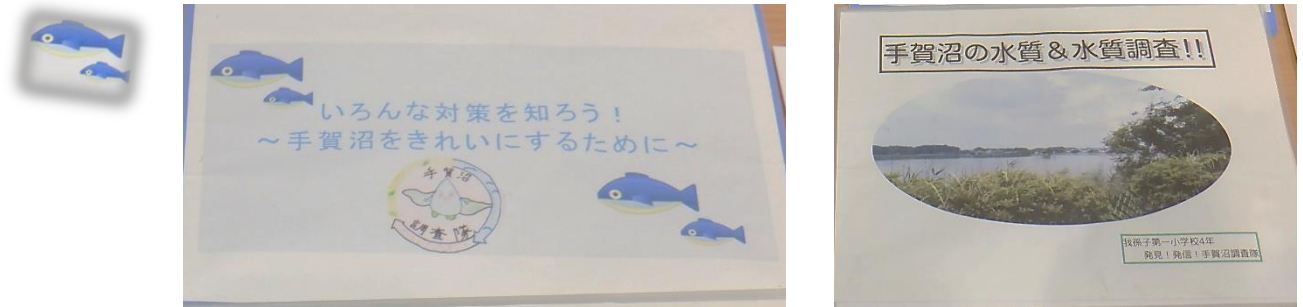


「自分が手賀沼のために何ができるかこれからも考えていきたいです。」

これは、子ども達からのお礼の手紙に書かれていた一文です。一人一人の力は小さくても、みんなが考えて実践していくことで環境をより良くしていくことができます。子ども達やさらにその後の世代に豊かな自然環境を残せるかは、今を生きる私たちにかかっています。

第5学年に進級した子ども達は、現在は谷津（岡発戸・都部の谷津ミュージアム）について学習を進めているそうです。今後の学習の成果が期待されます。

学年主任の佐藤悦子教諭から代表児童より感想をいただいていますので最後にご紹介します。



我孫子市立我孫子第一小学校 5年生の代表児童の方よりいただきました！

わたしたちは、手賀沼の水や環境についての学習を通して、自分たちにできることを考え、取り組んできました。

手賀沼は、昔はとてもきれいな水辺だったけれど、環境汚染により汚れてしまいました。汚れていても、水質が少しずつ改善されてきています。

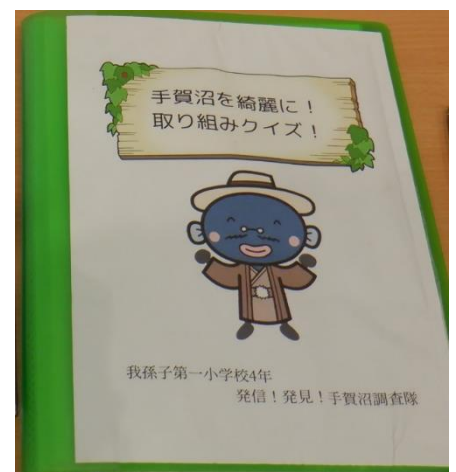
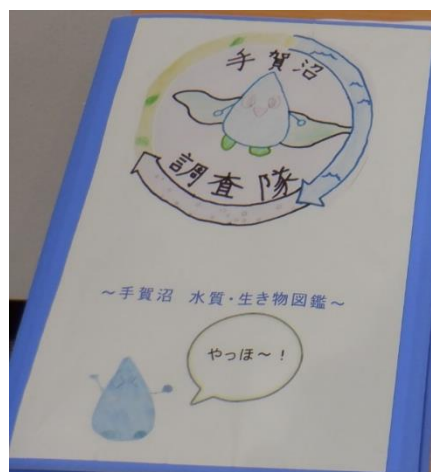
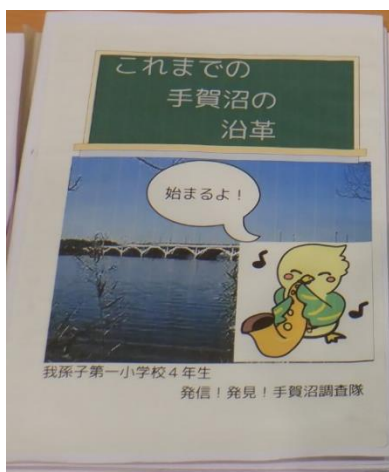
その理由は、人々の努力です。

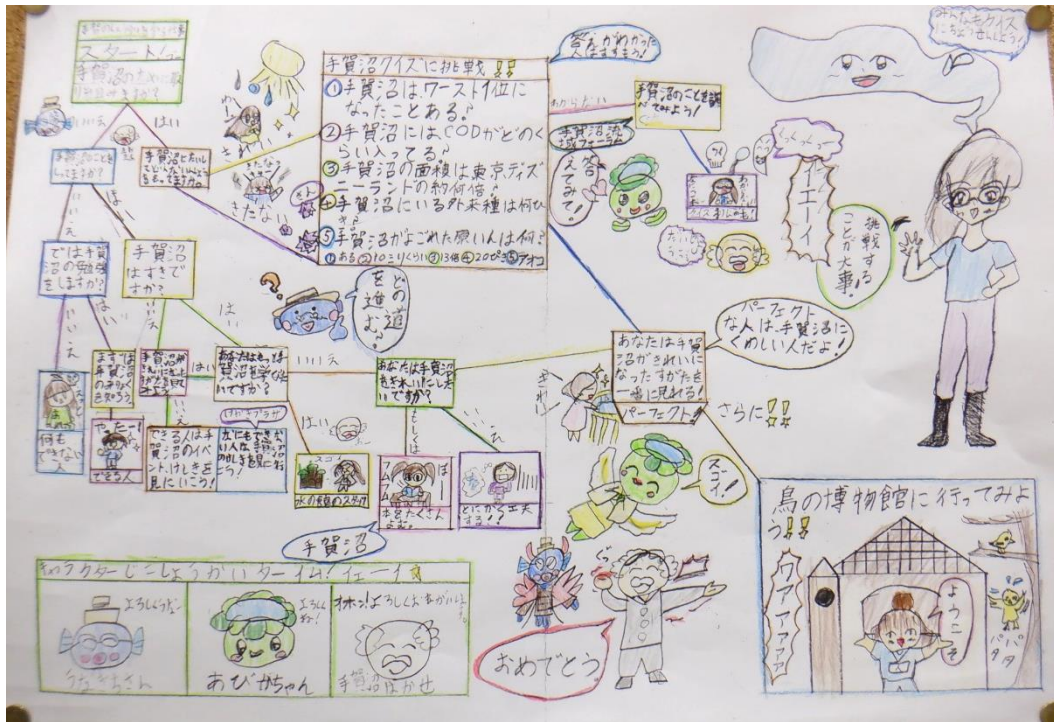
我孫子の環境を支えてくださっている手賀沼課や地域ボランティアの方々の取り組みのおかげで、少しずつ手賀沼の水質が良くなってきたことを知り、自分たちにもできることを考えるようになりました。

わたしたちは、今の手賀沼を発信していくことが大切だと考え、地域の人への新聞やリーフレット、ポスターなどを作成したり、学校では手賀沼への思いをのせた合唱やダンスを発表したりしました。

ゴミの分別、ばい捨てをしないなど、一人一人ができることに取り組んでいく必要があります。

これからも、我孫子のシンボルである手賀沼を自分たちの誇れる場所として大切に守っていきたいです。





手賀沼ステーションでの展示の内容です。オリジナルキャラクターを作ったり、すごく形式にしたりするなどして、調べたことをわかりやすく楽しく伝える工夫がこらされていますね！



環境レンジャー活動報告(ネイチャーイン)

春の谷津の自然観察

(環境レンジャー 山田 雅美)

4/23 (日) 岡発戸・都部地区に広がる谷津ミュージアムで、春の自然観察会を実施しました。一般参加者 22 人 (大人 17 人、子ども 5 人)、講師の田島先生、環境レンジャー 5 人、手賀沼課職員 1 人の計 29 人が東我孫子駅前に集合し谷津へと出発しました。

谷津に入ると緑に映えるフジがあちこちに咲いていて、ウグイスの鳴き声を聞きながら咲き誇るフジを眺めるという優雅な状況に、参加者からは、「近くでこんな体験ができて嬉しいです」といった声が聞かれました。群生するウラシマソウやホウチャクソウも観察することができ、田島先生の解説に、熱心に耳を傾けて聞き入っている姿が印象的でした。また、けもの道やアリジゴク、植物学者牧野博士の意外な植物の名前の付け方のエピソードなども紹介され、子供たちからも次々に質問が出て積極的に学んでいる様子が伺えました。田植えの準備の為に水を張った田んぼ近くの水路ではカモが、出口の解散地付近ではキジが観察できました。2 歳から 85 歳までと幅広い年齢層の参加者でしたが、途中脱落者もなくお天気にも恵まれ、全員が春の谷津の自然を満喫し楽しみながら学ぶことができ、大変有意義で思い出深い観察会となりました。

環境レンジャー活動報告(ネイチャーイン)

春の谷津観察会記 “谷津に咲く花”

(岡発戸・都部の谷津を愛する会 田島 友昭)

4/23 (日) 晴れ、東我孫子駅前行くとすでにレンジャーが集まっておられた。小さなお子さんを含め出発。桜の花も散り、同時に春一番に咲く白い花のコブシも終り、それらに代わり谷津全体の森林を包む様に紫色の花が房状に咲く藤の花が見頃。この藤はノダフジでつるの巻き方が右巻で、左巻につるが巻くのがヤマフジである。このノダフジを命名したのは牧野富太郎さんです。2024 年発行の新五千円札に描かれる予定です。このフジの丈夫なつるは、古代より縄の代用、籠や椅子の材料として使われ、万葉集には 27 首の藤を詠んだ歌もある。つるが蛇に似ていることや“フジ”が“不時”に通じることで庭に植えるのを嫌う風習もある。反対に神聖な木ともされます。花と新芽は食べられます。

谷津の入口、ゴルフ場フェンス下に獣道を見つける。ゴルフ場側から反対の湿地に通ったと思われる。湿地に下りて食べ物 (ミミズ、ザリガニなど) 探しを夜に行う。この獣道をみなさんに見てもらう。この穴を見ていた小学生が小さな虫を見つけ、「始めて見た虫だ、名前は？」との質問です。この昆虫は千葉県要保護種のヤマトシリアゲムシで春の黒個体でした。お尻をサソリのように曲げ上げているのでこの名前がつけられた。古代の化石からシリアゲムシが見つかる。秋に少し色が赤くなる個体が発生する。

その前には白い多くの花と葉が同時に芽吹いているニワトコが目に入り説明。魔法使いの杖として有名で、生薬として利用、接骨木とも呼ばれ、昔の接骨医が粉末にしたものを水で練って打撲などに用いた。花も煎じてお茶で生薬とする。また、熟した赤い実を集めてジャムに利用される。

今回はゴルフ場を観察し歩く。目玉の植物が多く群生して皆さんに見ていただきたく選びました。その花は変わった苞があり、そこから糸のような附属が出て“ウラシマソウ”です。この糸のようなものを浦島太郎が釣りに使う糸に見立てて“ウラシマソウ”と名前がつけられた。仏炎苞 (ぶつえんほう) の筒部は雄と雌に分かれ、雄の苞の下部には小さな穴があって虫の出入口となり、雌の苞には小さな穴はなく、花粉をつけた虫は出入口がなくて苞の下部で死ぬ。受粉した果実は緑色のトウモロコシ状で秋には赤く熟し食べられるそうであるが、食べると口のなかを針がさした様に激痛に見舞われる。食中毒である。要注意植物です。短い時間でしたが、楽しい観察会でした。お礼申し上げます。



ウラシマソウの赤い実

環境レンジャー活動報告(環境学習)

Enjoy 手賀沼！2023 「生き物ぬり絵をして野鳥カードをゲットしよう」

(環境レンジャー 谷内 トヨ子)

5/14(日) 水の館広場にてイベント「Enjoy 手賀沼！」が開催されました。3年間続いたコロナ禍も下火になり大勢のお子さんや家族連れが訪れ、それぞれの催しものをエンジョイしている様子でした。

環境レンジャーのブースでは、生き物のぬり絵をして野鳥カードをゲットしようの声掛けに、3歳の小さなお子さんから中学生、大人の方々までが参加してくれました。鳥類や昆虫など生き物ぬり絵のお手本を見ながら色を塗って出来上がったぬり絵を見せると、たくさんの野鳥カードから好きなカードを1枚プレゼントされます。

家族揃って描く様子も微笑ましく、お父さんと並んで小さなお子さんも熱心に色をつけて得意そうに見せてくれ、「上手だね、良くかけたね」の声にとっても嬉しそうに微笑んでくれました。また隅々まで丁寧に塗ってきれいに仕上げるお子さんや、野鳥カード欲しさにサッサと雑に色付けて野鳥カードをゲットするやんちゃな男の子もいたりして、それぞれに皆さんが楽しんでくれたようです。男の子はカブトムシやオオクワガタ、カワセミ、ツバメなどの塗り絵、女の子はカワセミ、シジュウカラ、キジなどの塗り絵を選ぶ傾向があり、今回は総じてカワセミ、シジュウカラ、ツバメ等が人気でした。

大勢の来場者のうち実際にぬり絵をしてくれた参加者は292人でした。身近な生き物のぬり絵を通して、形や羽の色や足の本数などを覚えてくれればよいなとささやかながらも願いつつ、好評のうちに終了いたしました。



←Enjoy 手賀沼！
生き物ぬり絵

谷津ミュージアム→
ホタル鑑賞会



環境レンジャー活動報告(ネイチャーイン)

谷津ミュージアムホタル鑑賞会 ～夏の夜の観察会～

(環境レンジャー 野倉 元雄)

7/29(土) 東我孫子駅に集合した参加者は子供11人、大人36人、環境レンジャー・サポーター・市役所職員14人の合計61人での観察会となりました。参加者は殺虫性のある虫よけスプレーや懐中電灯は極力使用しないことなどのマナー説明を聴いて、午後7時はいよいよ出発です。谷津の中には街灯がありませんが当日の月齢が12.5日で、その月明かりで参加者の皆さんはすぐに暗さに目が慣れたようでした。谷津ミュージアムに入ってゴルフ場沿いに道を進みましたが、その辺りではホタルを見ることができませんでした。やがて三叉路を左折するあたりで最初のホタルを確認することができました。左折後は左右の水辺の草の陰で徐々に蛍の数が増えていきました。二つ目の三叉路は通常右折するのですが、当日は左折して30mほど進んだ辺りに多くのホタルを見ることができました。子供たちだけではなく大人の歓声も聞こえてきました。ホタルの里に近づき少し進むとホタルが現れ、また少し進むとホタルが現れるという具合に次々と現れ、感激と興奮が徐々に高まっていきました。草陰以外にも木の枝の葉陰や藪の中などにまとまった数のホタルが見られるようになり、更には田の上や道の近くをフワフワ飛ぶ姿も見られるようになりました。何人かの皆さんの手や衣服にホタルが止まってくれた時にも触ろうとするのではなく、自然にホタルが飛んでいくまで静かに観察することができたことは参加者の皆さんに感謝です。ホタルに出会って参加者は感激で満足の様子でした。今年も多くを見ることができ、ホタルの出現数はレンジャーのカウントで191頭でした。参加者からは「いっぱいホタルが見られて楽しかった」「ホタルが私にとまってくれた」「我孫子で多くのホタルが見られる環境を大事にしてくれては」といった感想が聞かれ良い思い出の観察会となりました。

環境レンジャーのこれからの予定

詳しくは「広報あびこ」を見てね！

お申し込み、お問い合わせは、我孫子市手賀沼課（04-7185-1484（直通））まで

令和5年11月11日(土)

ネイチャーイン 秋の谷津の自然観察



終了しました

時間：午前9時30分～11時30分
場所：JR東我孫子駅に集合

岡発戸・都部の谷津ミュージアムを散策し、秋の草花、木の実、昆虫、野鳥などの自然を観察しませんか。谷津の自然の新たな発見を感じ取りましょう！当日は谷津まつりも開催予定です。

令和5年12月9日(土)

環境学習 鳥凧作り



終了しました

時間：午後1時～2時30分
場所：水の館3階研修室

ビニール袋と竹ひごを使って、鳥凧を作ります。マジックで目を描いたり、シールを貼って思い思いに仕上げましょう。天気が良ければ、みんなで凧揚げ大会！

※傷害保険代50円/人が必要です。

令和6年1月28日(日)

ネイチャーイン 手賀沼冬鳥観察会



時間：午前9時～11時ごろ
場所：手賀沼親水広場・水の館玄関前集合

たくさんの水鳥が集まる手賀沼の冬は野鳥観察のベストシーズンです。今回は遊歩道を歩きながら探鳥します。猛禽類のミサゴやかわいいカワセミの姿も見られるかもしれません。我孫子野鳥を守る会との共催です。

令和6年2月17日(土)

環境学習 紙飛行機工作と飛行大会



時間：午後1時30分～3時
場所：アビスタホール

大人気！の紙飛行機工作と飛行大会。みんなで「スーと飛ぶ飛行機」「ふわふわ飛行機」「曲技飛行機」など作って、仕上げは一緒に飛ばして遊ぼうね。ビックリするほど飛ぶよ！

※傷害保険代50円/人が必要です。



《編集後記》

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、厳しかった夏の暑さもヒガンバナが咲くころには、一気に涼しくなりました。実りの秋です！お米やお芋、クリやカキ、近くのスーパーで我孫子産の「実り」を見つけるのも楽しいですね！

『たまっけ』へのご意見、ご感想お待ちしております。

(環境レンジャー 継岡 伸彦)